

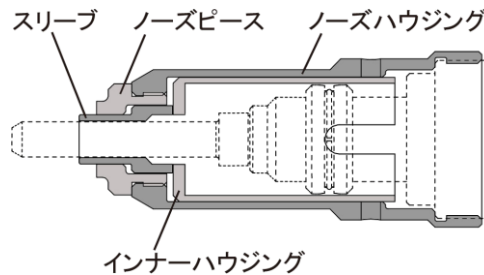
ST ナット用ノーズアッセンブリ取扱説明書

本製品は PNT800B-L-PC で ST ナットを締結するための製品になります。

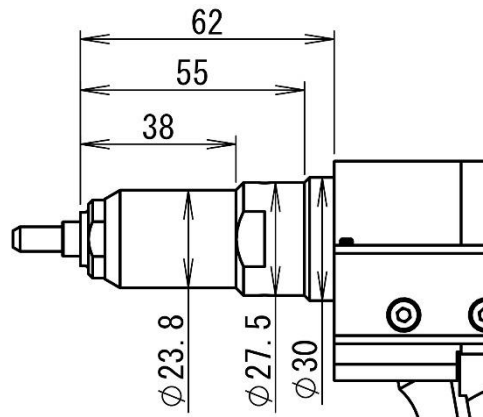
始めに本取扱説明書を必ずお読みいただき、記載事項に基づき正しくご使用ください。

構成部品

TNM00281 / ST6-10、ST6-15 ST ナット用ノーズアッセンブリ			
スリーブ	ノーズピース	インナーハウジング	ノーズハウジング
TNM00310	PPT600-02-6ST	PNT800AST-02	TNM00269

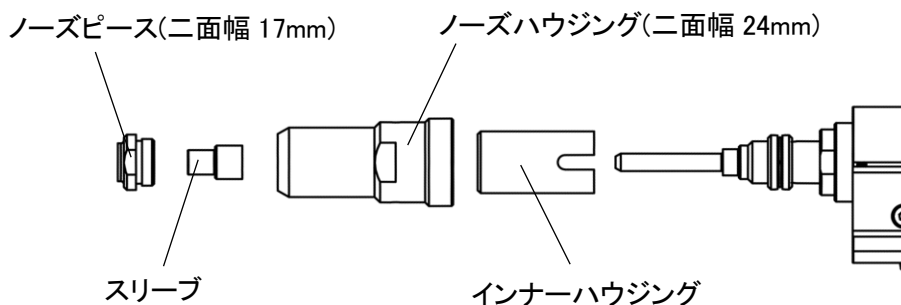


先端部寸法



取付方法

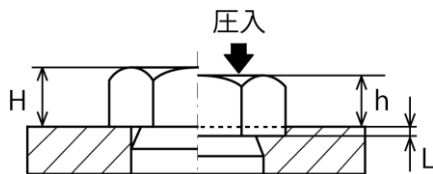
- ① カプラを分離する等により、**圧縮空気の供給を止めてください。**
- ② 24mm のスパナで PNT800B-L-PC のノーズハウジングを緩め取り外してください。
- ③ 下図を参考に順番通りに取り付けてください。



圧入力の調整

使用する ST ナット、母材に合わせて圧入力の調整が必要です。以下の状態になるように圧入力を調整してください。調整方法は PNT800B-L-PC 取扱説明書の「締結荷重の調整」を参照してください。

- ① ST ナットボディの母材への沈み代は適正範囲内に収まっていること(下記「L-T グラフ」参照)
- ② 母材が変形していないこと



※圧入力の確認は 5 個以上確認ください



母材やテストピースは治具等で固定して ST ナットを圧入してください。母材やテストピースを手で持った状態で ST ナットを圧入すると母材やテストピースがマンドレルと一緒に回転し、手を損傷することがあります。

L-T グラフ

- ・ ST ナットを母材に圧入する場合は下記のグラフから適正沈み代を読み取り圧入管理を行ってください。
- ・ 圧入方向(パンチ側圧入、ダイ側圧入)に関係なく適正沈み代は共通です。

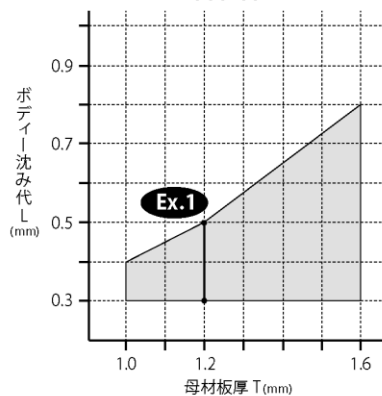
適正沈み代Lの読み取り例

【Ex.1】 使用STナット : ST6-10 , 母材条件 : SPCC 1.2mm

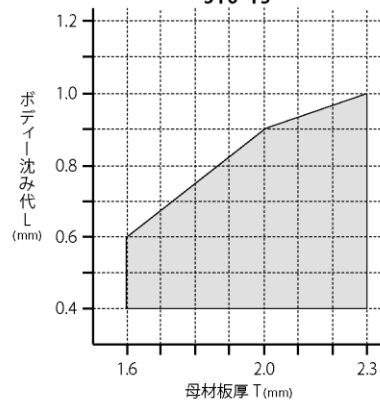
*この場合適正沈み代Lは、グラフの Ex.1 より 0.3mm~0.5mm となります。

SPCC母材

使用ナット
ST6-10

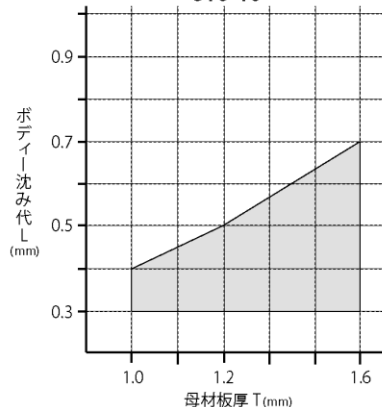


使用ナット
ST6-15



A5052-H34母材

使用ナット
ST6-10



使用ナット
ST6-15

